



BETHEL通信

2023 年 1 月号 (第 234 号)

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL089-925-5000

ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>

新年のご挨拶



皆様、新年明けましておめでとうございます。2020年4月から始まったコロナ禍はとうとう2023年に突入し丸3年を迎えようとしています。2022年は病棟でのクラスターを経験し、多くの困難と疲弊を経験する出来事でしたが、学びも多かった出来事であったと振り返っています。感染者数はいまだに高止まりの状況ではありますが、with コロナの形が見えてきたようにも思える2023年の年明けです。

今年の干支は「卯」です。“うさぎ”はそのピョンピョン跳ねる姿から“飛躍”や“向上”の象徴と言われ、穏やかで温厚な性質から“家内安全”の象徴とも言われています。私事ではありますが、還暦を過ぎ生まれ変わっての一巡目の年男です。この年で“飛躍、向上”でもないと思いつつ、今年は私にとって大きなイベントがあり皆さんへ少し紹介いたします。

「日本死の臨床研究会」という学会があります。死の臨床において患者や家族に対する真の援助の道を全人的立場より研究していくことを目的とし1977年に設立された会です。その当時、延命・救命が全盛だった時代に「死と向き合う」医療を提唱した先見性に驚かされる会です。2020年に松山で全国大会の開催を計画していましたが、コロナ禍で延期を余儀なくされ、今年11月25日ー26日県民文化会館で開催を予定しています。テーマを四国から発信したいと考え「お遍路の里・四国から 死に学び生を考える～看取りを文化に～」としました。お遍路さんは「弘法大師と同行二人」で地元の皆さんの“お接待”を受けながら八十八ヶ寺を廻り、自分の人生と向き合う巡る旅だったと思います。私は何か“ホスピスの心”が文化として醸成された匂いを感じます。全国から約3000人の皆さんに集まっただき、四国の香りの中で学びを深める会にしたいと考えています。講演には、宗教学者の山折哲雄さん、ノンフィクション作家の柳田邦男さん、俳人の夏井いつきさん、昔懐かしい“フォーククルセダーズ”の北山修さん（精神科医師）、子規記念館館長竹田美喜さんをお迎えしています。詳しい情報は第44回日本死の臨床研究会年次大会ホームページに掲載しています。

もう一つ、少しでも皆さんへ生きる事、死を考える事を身近に考えていただきたい活動として「生ききるーいのちプロジェクトー」というホームページを立ち上げて南海放送ラジオ（毎週土曜日午後4時50分ー5時）を放送しています。これも一緒に覗いてみてください。二つの活動のホームページURLとQRコードを下に挙げています。覗いてみてください。

本年も、with コロナで良い一年にしたいと考えています。よろしくお願いします。

第44回日本死の臨床研究会年次大会：

<https://jard44.org/>



生ききるーいのちプロジェクトー：

<https://www.mitori-bunka.com/>





床ずれについて ～その2～

先月号では床ずれは圧迫により起こる皮膚の変化で、その原因や予防についてお伝えしました。では、皮膚の変化とはどのようなものなのでしょうか？

床ずれができた直後から 1～2 週間は急性期、それ以降は慢性期とよばれます。急性期は病態が不安定で皮膚に赤みがみられたり、水ぶくれや内出血が起こることがあります。指で赤くなった部分を数秒間押して、離れた時に赤い状態であれば床ずれの可能性がありますが、白く戻る場合は床ずれではありません。この期間は床ずれの深さが分かりにくいので、毎日の観察が必要です。

その後、慢性期になると症状が安定してきて、この状態から治癒に向かうか、さらに慢性化するかに分かります。皮膚は表面から表皮、真皮と層になり、その下には皮下脂肪、筋肉、骨があります。真皮までの床ずれは浅い褥瘡^{じよくそう}といわれ、真皮を越え、深くなると深い褥瘡^{じよくそう}といわれます。浅いと数週間で治るものが多いのですが、深いと容易には治りません。深い状態になると皮下脂肪や筋肉にも病変が広がり、皮膚の表面が壊死組織に覆われることもあり、見た目が黒く乾燥してきます。この場合は死んだ組織を取り除きながら経過をみることになります。重症になると傷からしみ出る液体が多くなり、細菌感染により化膿したりします。細菌感染により発熱や膿が出る症状が出ることもあります。

床ずれの治療では、皮膚が損傷した所の治療と、床ずれを悪化させない、他の所に褥瘡^{じよくそう}をつくらないことが必要になります。

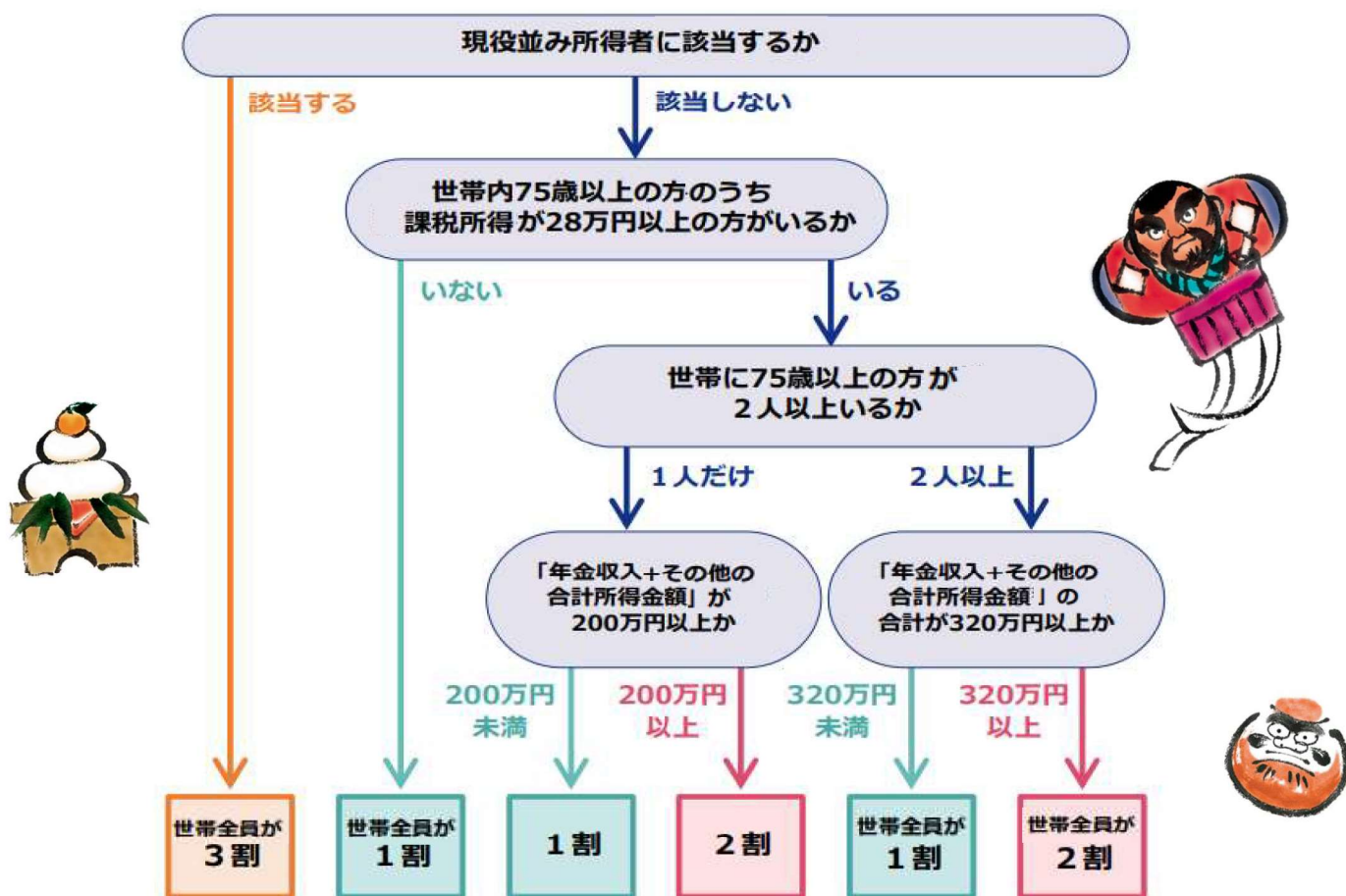
床ずれができた場合には、まずは患部をきれいな水で洗い、しみ出ている体液や汗、尿や便などの排泄物を取り除きます。深くなった場合には、中にある異物や壊死組織を取り除き細菌が増えないようにします。感染が悪化した場合には1日に1～数回洗うこともあります。また予防と同様に体位変換をして圧迫を解除したり、栄養状態を改善することが必要です。そして褥瘡^{じよくそう}の深さによって塗り薬やドレッシング材を選んで治療するので、床ずれができた場合には、医療機関に治療の仕方などについて相談してください。



後期高齢者の窓口負担割合の変更について

75 歳以上の後期高齢者の医療費は、約 5 割を公費で負担し、約 4 割が現役世代の負担（支援金）によって支えられています。令和 4 年以降は、他の世代より突出して人口の多い団塊の世代が 75 歳以上になってくるため、医療費はさらに増大し、現役世代の負担がさらに大きくなることが懸念されています。

こうした中で、現役世代の負担を少しでも減らしていくと同時に、全ての世代が安心して医療を受けられる社会を維持するために、後期高齢者医療制度の窓口負担割合の見直しが行われました。令和 4 年 10 月 1 日から、現役並み所得者を除き、75 歳以上の方等で一定以上の所得がある方は、医療費の窓口負担割合が 1 割から 2 割に変更となりました。窓口負担割合が 2 割となる方は、全国の後期高齢者医療の被保険者全体のうち約 20%です。この制度変更に該当される方は令和 4 年 9 月頃に後期高齢者医療広域連合または市区町村から、令和 4 年 10 月以降の負担割合が記載された被保険者証を交付されています。ご自身または高齢のご家族が対象になるのかなど、ぜひ確認してみてください。



「医療相談室・地域医療連携室」では関係機関との連携をとり相談をつないでいます。
お気軽にご相談下さい。

(医療相談室 看護師 大城 佳緒里)

外来診療日のお知らせ

◎豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）

1月11日（水）、1月25日（水）

◎多田 聡 医師（神経内科）

1月5日（木）、1月19日（木）

◎吉田 暉 医師（神経内科）

1月12日（木）、1月26日（木）

◎加藤 喜久美 医師（内科）

当面の間、休診いたします。



おかむら ななえ
岡村 菜々恵

配属部署：栄養給食課

職 種：管理栄養士

抱 負：一生懸命頑張りますので、宜しくお願いします。



元日に
今年こそはと
願う夢
(千 隆)

照紅葉
一ひら散りし
つるべ井戸
(河田 和子)

ベテル旬会



ベテル病院 創立40周年！！

12月号に掲載したクイズの答えは分かりましたか？ベテル病院内にある、他の病院ではあまりない少し変わった所は次のうちどちらでしょう？

正解は①チャペルがある、②ミニバザーコーナーがあるでした！

ミニバザーコーナーには衣類、食器、雑貨等様々な品物があります。掘出し物が見つかるかも♪ぜひ、覗いてみてください！！



【ミニバザーコーナー：1F 薬局前】

ご活用ありがとうございます。売上をボランティア活動に充てています。



- ・投句箱を外来・各病棟に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。
- ・『ベテル通信』について、ご意見やご要望を「ご意見箱」へお寄せください。
- ・掲載中の写真についてはご本人様、ご家族様の許可を得ています。

発行日 2022年12月23日